

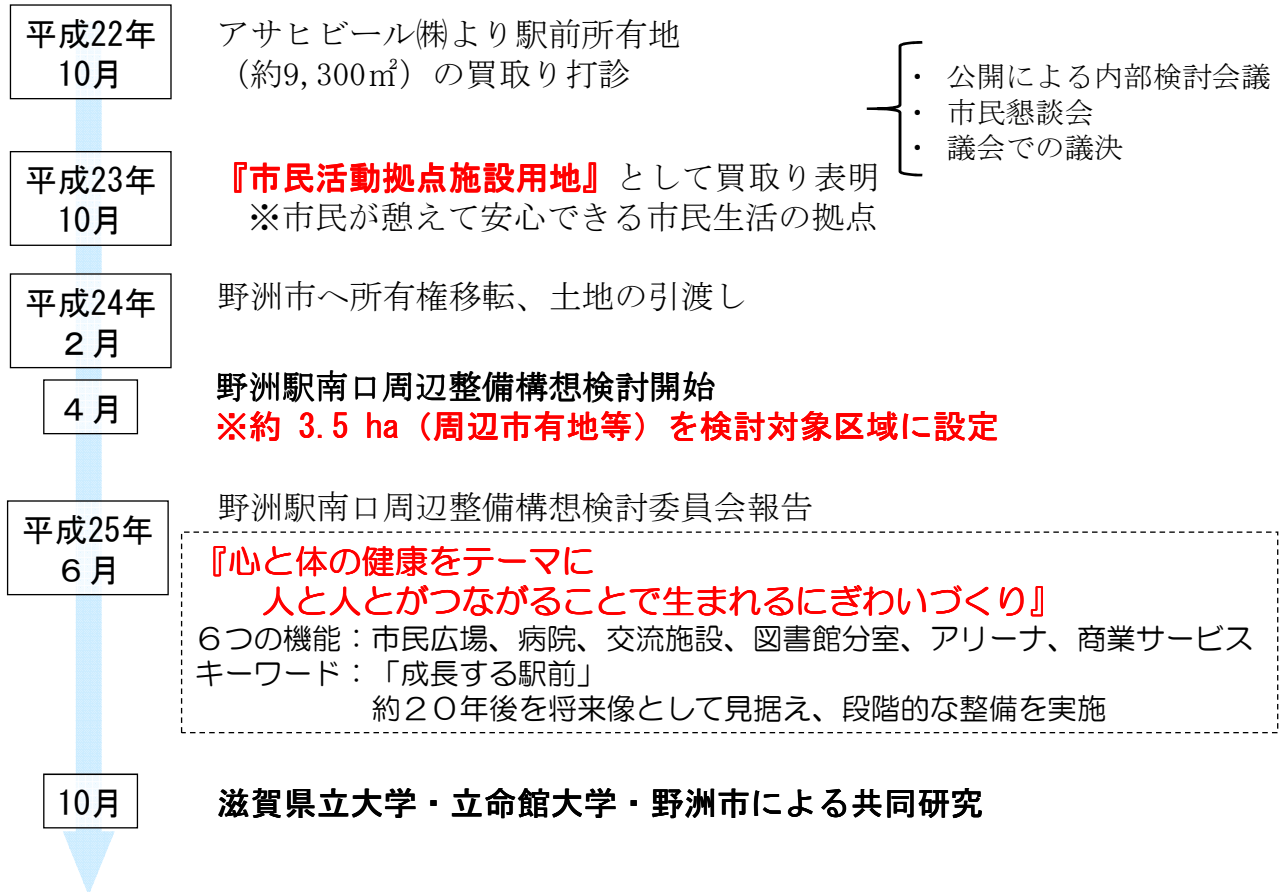
野洲駅南口周辺整備構想提案発表 “つながり”と“にぎわい”のまちづくり

野洲市政策調整部企画調整課地域戦略室
(587-6141)

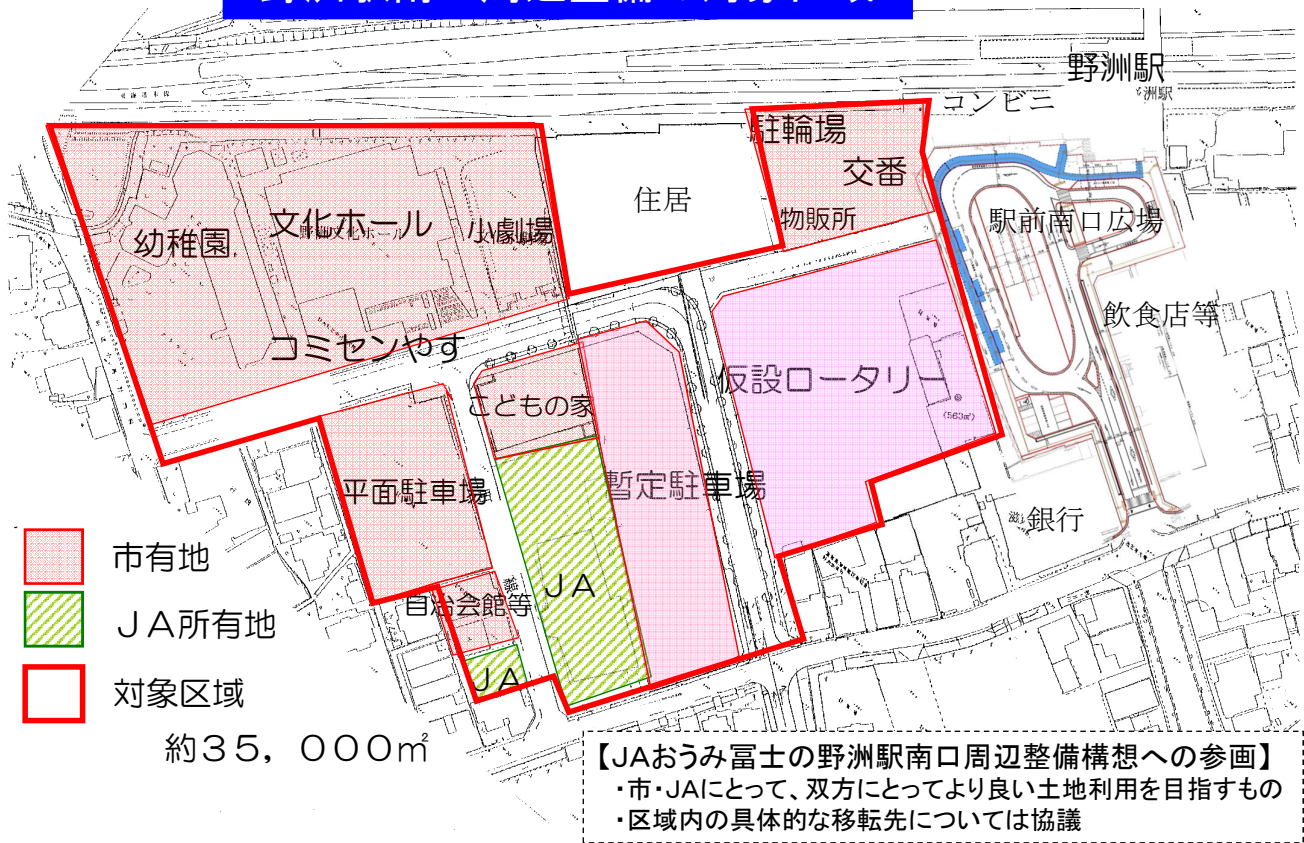
◎説明事項

1. 共同研究に至るまでの経緯
2. 共同研究の内容
3. 全体イメージ（機能配置と動線）
4. 調査分析（交通影響、マーケティング）
5. 広場と連携した施設の事例
6. 構想策定に向けた事業調整

1. 共同研究に至るまでの経緯



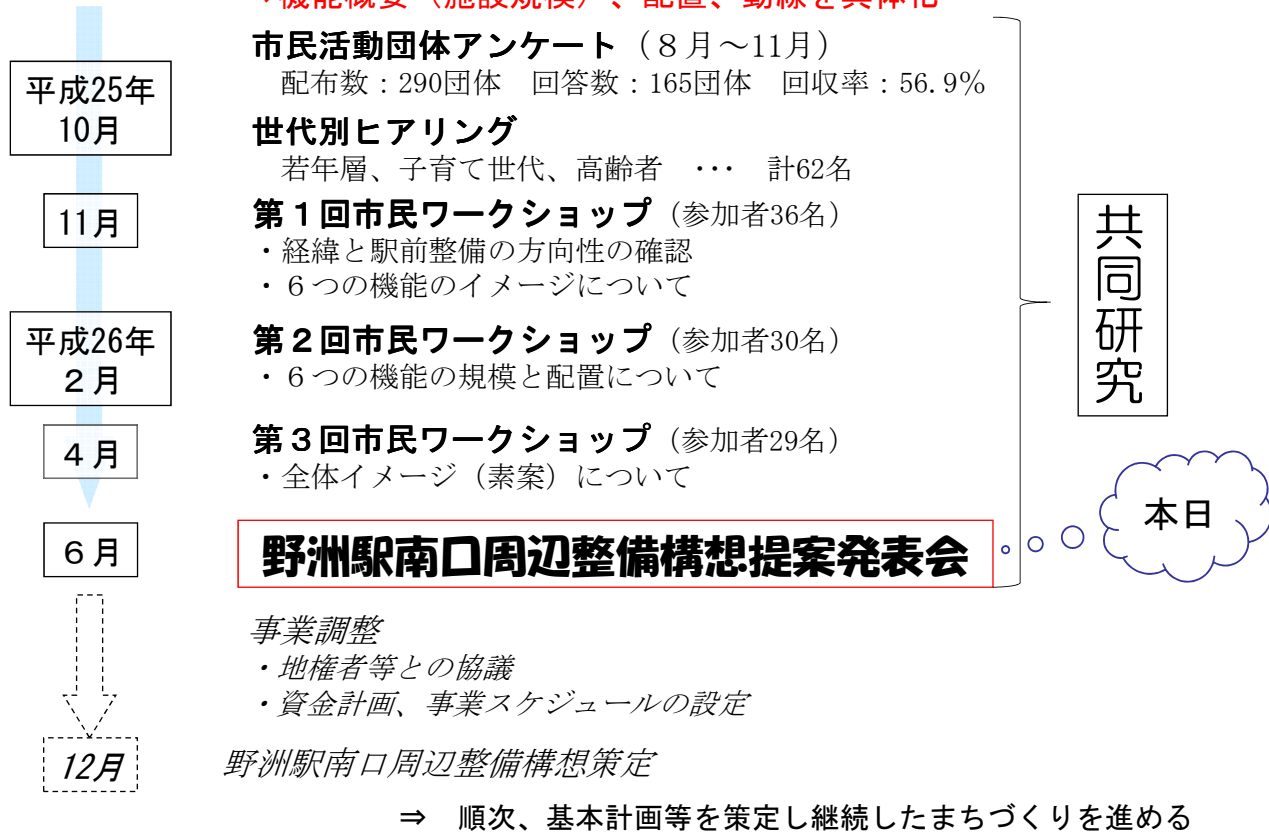
野洲駅南口周辺整備の対象区域



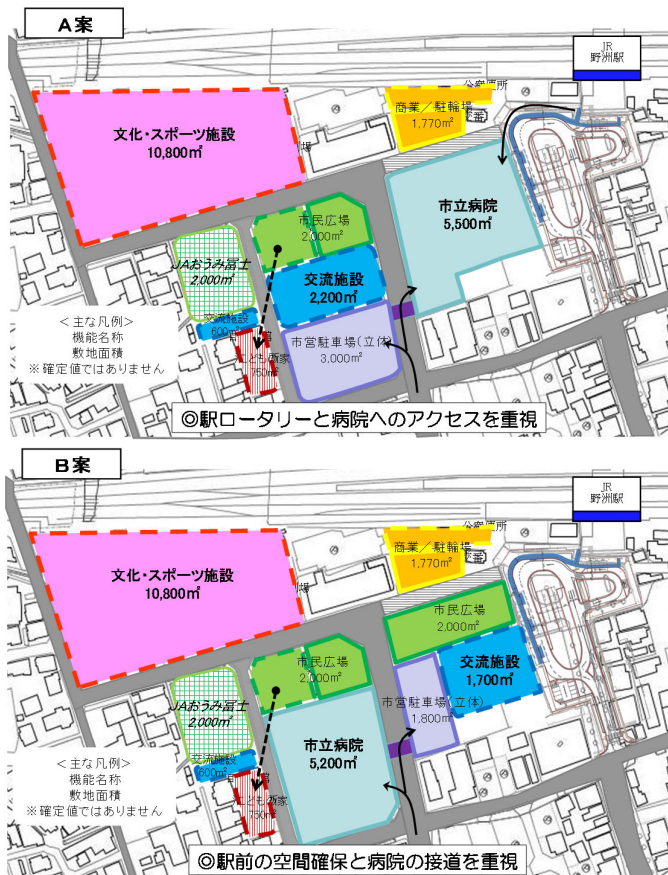
2. 共同研究の内容

『市民の思い』 × 『専門的ノウハウ』

⇒機能概要（施設規模）、配置、動線を具体化



検討経過



機能の規模と配置検討

（仮称）野洲市立病院整備基本構想検討委員会提言

- 病院立地は駅ロータリー隣接地が望ましい
- 既存の公共交通機関との連携、接続
 - 施設と駐車場の接続
 - 市域全体から見たアクセス

市民ワークショップ

A案・B案の配置イメージに基づき、グループごとに模型を使って配置を検討

（ワークショップで出された主な意見のポイント）

- ・利便性の向上
- ・にぎわいづくり
- ・既存施設との関係性
- ・景観保全、緑地の確保 など

【病院配置の絞り込み】

- 駅ロータリーに隣接して病院を配置することが合理的
- ・公共交通機関の効果を最大限活用
 - ・駅舎との接続（北口からのアクセス）に有利

検討経過



全体イメージ検討 (市民ワークショップでの検討)

<検討のポイント>

- ・市民広場と他の機能が連携できる、一体感のある配置
- ・駅からの市民広場の見え方や施設による圧迫感に配慮
- ・使いやすく交通負荷に配慮した立体駐車場の配置

第1案

- ・市民広場を中心に、病院や交流施設等を配置したパターン
- ・JAおうみ富士の配置は、現文化ホール等駐車場を想定

第2案

- ・市民広場を中心に、病院や立体駐車場等を配置したパターン
- ・JAおうみ富士の配置は、現位置を90度回転させた位置を想定 (JA希望による)

グループ発表では、第1案が望ましいとの意見

- ・市民広場を広く確保できる
- ・市民広場を中心に新たな機能が配置されることで、市民広場の活用の可能性が広がる
- ・市民広場が各機能を結び付けており、にぎわいづくりに相乗効果を期待できる

・共同研究では、第1案に絞込み提案

3. 全体イメージ

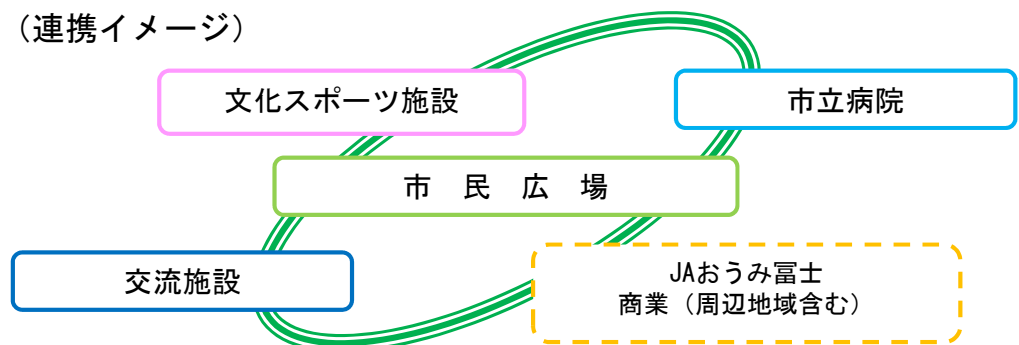
「心と体の健康」をテーマに
「人と人がつながることで生まれるにぎわい」づくり

駅前のポテンシャルを最大限活かせる提案づくり

○市民広場を中心にした駅前まちづくり

- ・規模と機能について
- ・市民広場を中心とした機能配置について
- ・安全で円滑な動線について

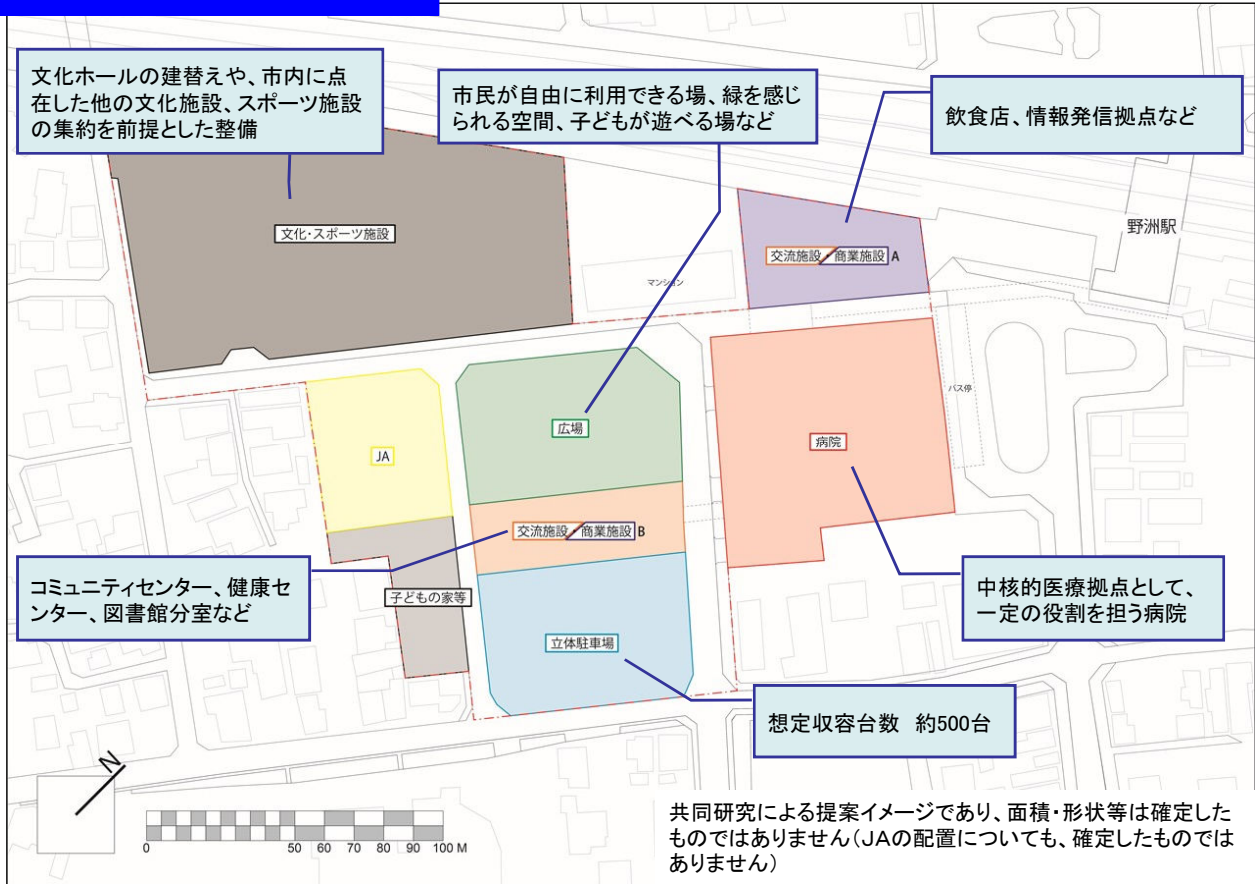
(連携イメージ)



各機能の概要と配置

市民ワークショップ等の意見を踏まえた提案

機能配置(ゾーニング)図



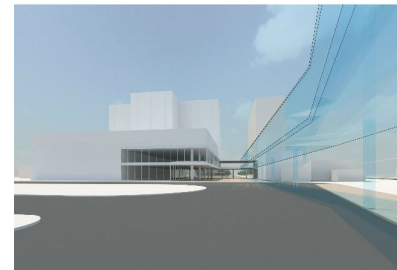
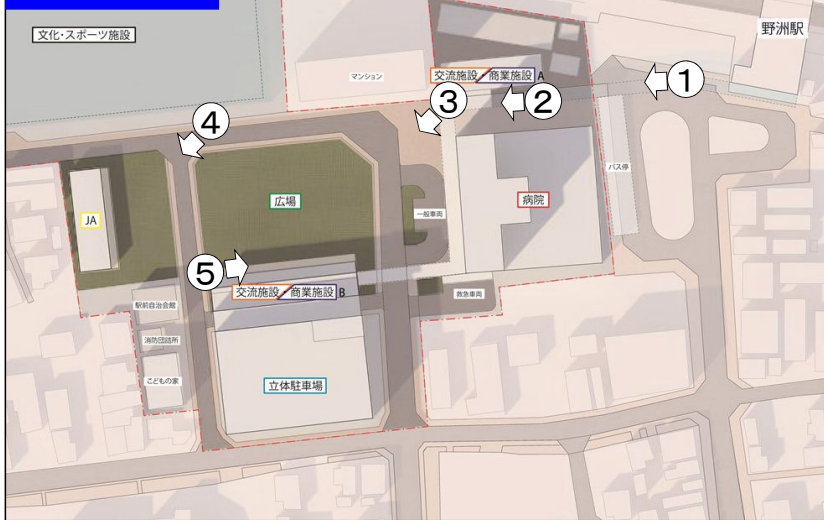
各施設の配置

機能配置(ゾーニング)に基づいた、施設の配置・形状

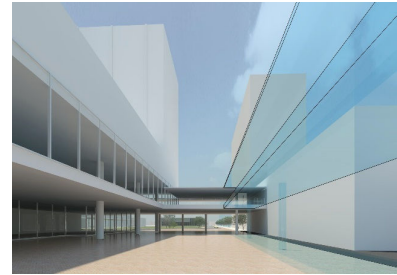


動線①

共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません(JAの配置についても、確定したものではありません)



①野洲駅前と直結する病院



②広場に続く病院前のプロムナード



⑤広場と一体利用できる交流施設



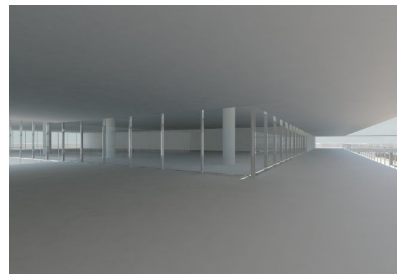
④市民広場とつながるJAの前庭



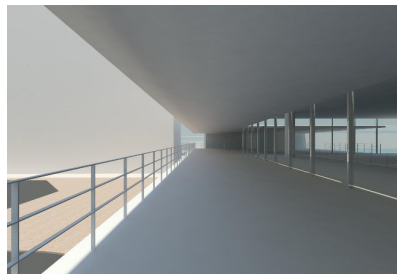
③交流施設と市民広場の全景

動線②

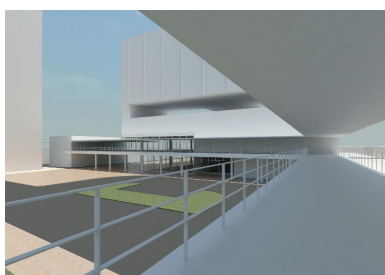
共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません(JAの配置についても、確定したものではありません)



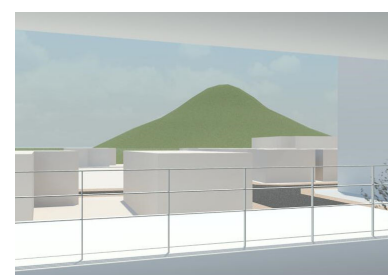
⑤病院と直結した商業施設からの様子



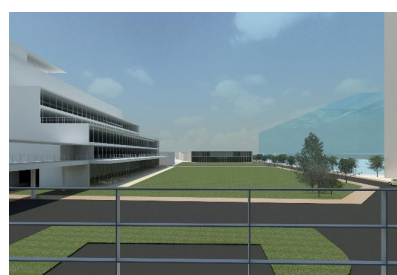
④病院の2階エントランス



①病院エントランスに続く歩道橋



②歩道橋から見える三上山の眺望



③歩道橋から見下ろした広場の全景

俯瞰図①

共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません(JAの配置についても、確定したものではありません)



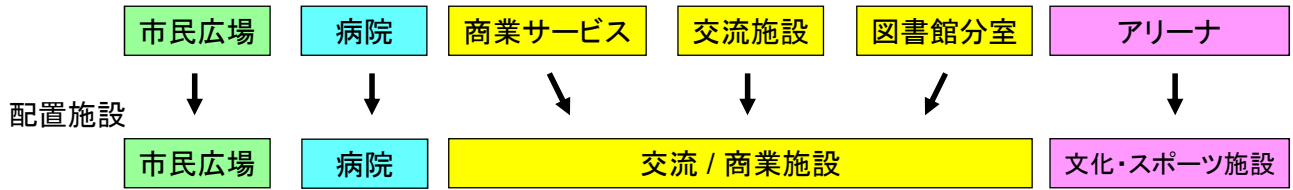
俯瞰図②

共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません(JAの配置についても、確定したものではありません)



【野洲駅南口周辺整備構想検討委員会で示された「6つの機能」の整理】

「6つの機能」



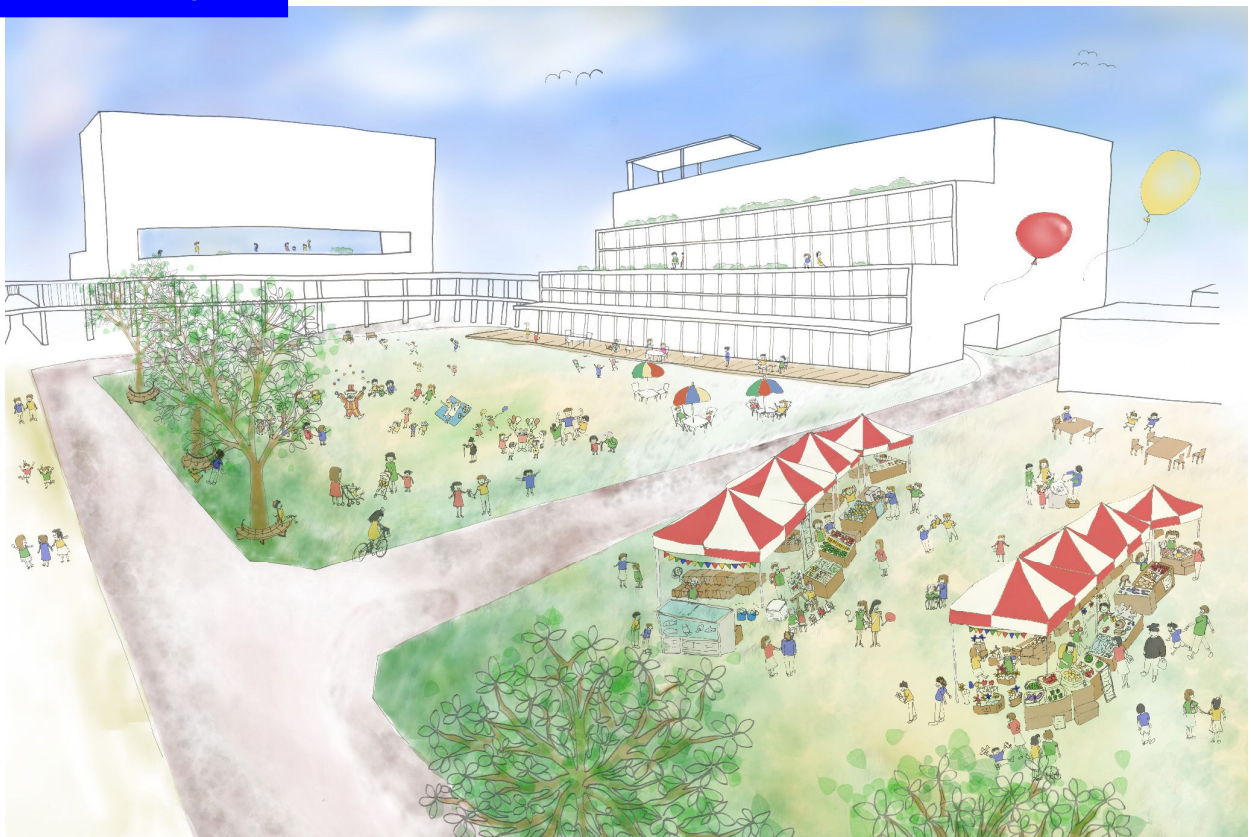
【施設の想定規模】

	敷地面積	延床面積	高さ	階層	利用の具体例
市民広場	2,300㎡	—	—	—	市民が自由に利用できる場、緑を感じられる空間、子どもの遊び場、フリーマーケット、青空市等
※広場として活用可能な面積：約3,500㎡ (隣接する交流/商業施設Bの敷地との一体活用)					
病院	5,500㎡	15,000㎡	35.5m	9階	想定病床数：199床
交流/商業施設A (駅舎側)	2,000㎡	1,000㎡	7.0m	2階	店舗(飲食店、直売所等)、情報発信拠点(企業、市民活動、学生、市)等
交流/商業施設B (市民広場側)	5,000㎡	3,500㎡	17.5m	5階	コミセン(研修室、調理室、多目的室等)、健康センター(健診室、健康相談等)、図書館分室、店舗等
文化スポーツ施設	11,000㎡	—	25.5m	—	アリーナ、ホール、トレーニング室等 ※既存施設の集約を前提
立体駐車場	5,000㎡	16,000㎡	24.5m	7階	想定収容台数：約500台(フラット式) ※周辺施設の共用駐車場

概算の数値であり、確定したものではありません。

イメージ図

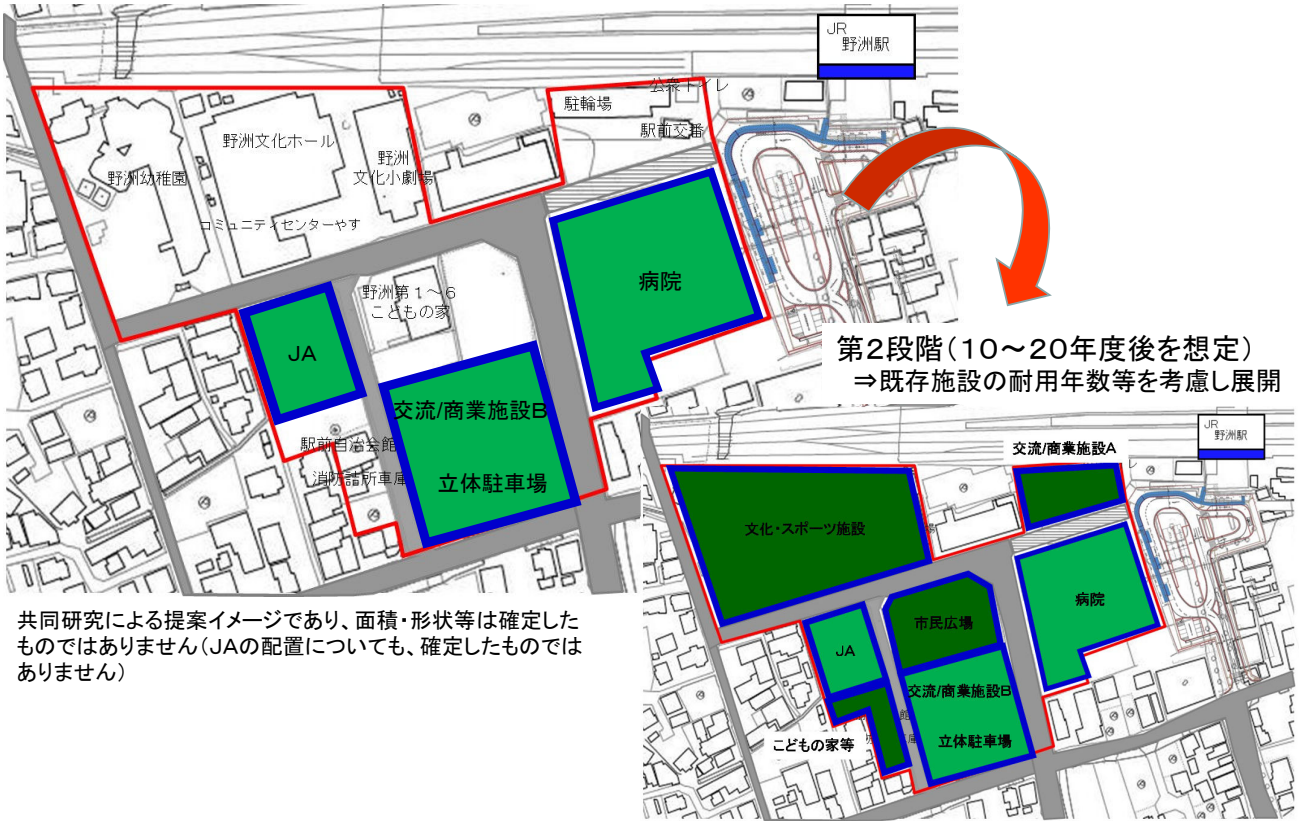
周辺施設と連携した広場の”にぎわい”の様子



共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません(JAの配置についても、確定したものではありません)

段階的な整備

第1段階(5~10年後を想定)
⇒優先度の高い病院と立体駐車場を中心に整備



共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません(JAの配置についても、確定したものではありません)

第2段階(10~20年度後を想定)
⇒既存施設の耐用年数等を考慮し展開

4. 調査分析

交通影響

自動車交通のシミュレーション

【前提条件】

- ・現地調査を行い、周辺道路を通行する自動車の台数、右左折の状況等をカウント
- ・信号の時間や一方通行規制などを反映

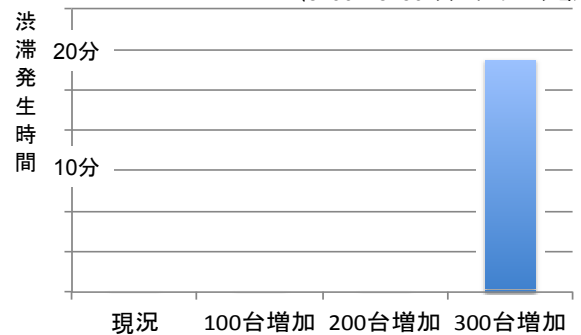
【シミュレーション内容】

- ・最も渋滞が発生しやすい通勤時間帯(8:00~8:30)を想定
- ・駅前周辺整備に伴い、どれだけ交通需要が増加すれば、渋滞が発生するのか試算

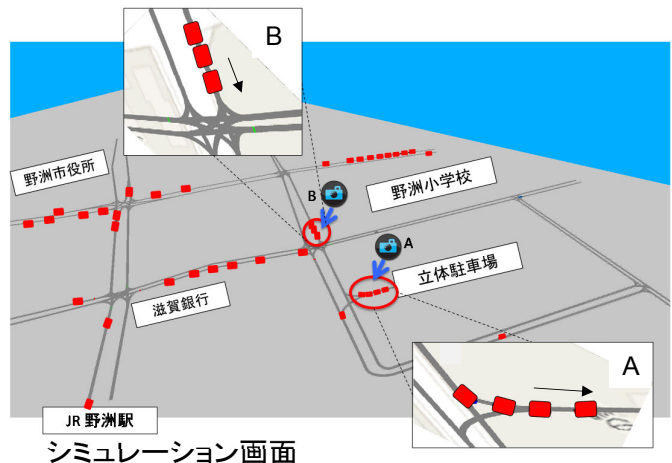
【シミュレーション結果】

- ・通勤時間帯(8:00~8:30)において、現状の交通量から200台程度増加しても、大きな渋滞が発生する可能性は低い。

交通需要の増加に伴う渋滞発生時間(※)
(8:00~8:30のシミュレーション)



※ 市道小篠原稲辻線交差点(下図B地点)において、16台以上の信号待ちの列が発生している時間



シミュレーション画面

マーケティング

野洲市の商業の特徴

- ・市民の多くが、市外で買い物をしている。
- ・商店数(卸売業を含む)が年々減少している。
- ・野洲駅周辺の小売業態・店舗は多様化しており、その中でも飲食店の割合が多いが、昼間に営業している飲食店は少ない。

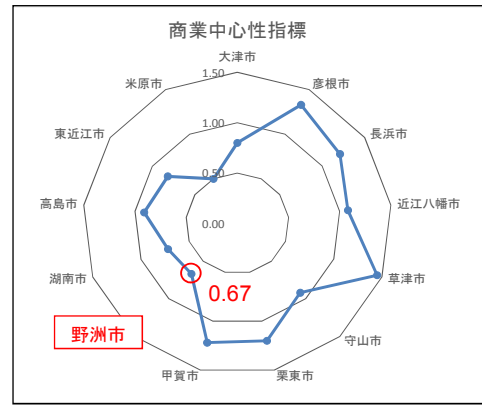
【分析のポイント】

- ・心と体の健康に関連する業態であること
- ・一定の集客力がある業態であること
- ・市民ニーズ(ワークショップ等で出された意見)

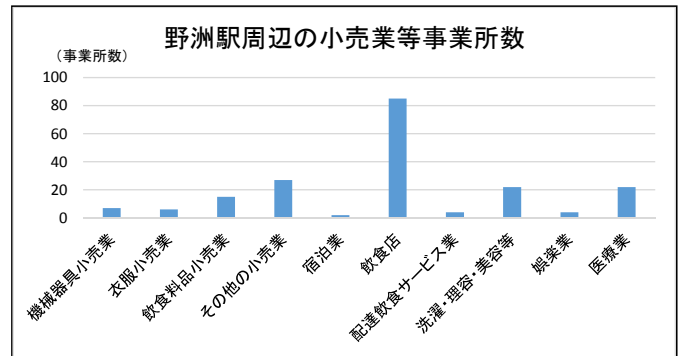


【想定される業態】

- ・飲食店(ランチレストラン、キッズカフェ等)
 - ・理美容室(エステ、化粧品等)
 - ・農産物直売所
 - ・ビジネスホテル
 - ・コンビニエンスストア
- など



「平成24年経済センサス」データから作成
 商業中心性指標: 市内における消費活動の指標
 県内一人当たり商業消費額に対する各市平均の比率
 〔 1超過: 市外から消費が流入 〕
 〔 1未満: 市外へ消費が流出 〕



※野洲駅から半径500m圏内の小売業等
 平成24年2月現在

5. 広場と連携した施設の事例



広場面積: 約2,000㎡

立川市子ども未来センター(東京都立川市)
 (子育て支援施設、コミュニティセンター、ブックカフェなど)



広場面積: 約3,400㎡

日向市駅交流広場「ひむかの杜」(宮崎県日向市)
 (駅舎、休憩所など)



広場面積: 約2,100㎡

境南ふれあい広場公園(東京都武蔵野市)
 (図書館、生涯学習センター、市民活動センターなど)



広場面積: 約3,500㎡

オガール広場(岩手県紫波町)
 (飲食店、物販所、図書館、地域交流センターなど)

6. 構想策定に向けた事業調整

「野洲駅南口周辺整備構想」の策定

平成26年12月(予定)

地権者協議

- JAおうみ富士との協議
⇒土地利用の諸条件の合意(配置、面積、スケジュール等)
- 滋賀銀行との協議
⇒滋賀銀行の申し出により、駐車場敷地の一部を交換

資金計画

- 市の中長期財政計画との調整
⇒概算事業費の算出
⇒財源見込み(補助金、起債、交付税等)
⇒事業スキームの検討(民間活用、直営)
⇒大規模な財政投資の平準化(投資のタイミング)

事業スケジュール

- 段階的な整備計画の策定
⇒既存施設の段階的整理(耐用年数や老朽化を考慮)